

# さんきえ 三帰依

## ■ 楽曲データ

歌詞：パーリ語讃歌

楽曲：—

初演：—

初出：—

管理番号：M778

## ■ 創作の経緯

ハワイで第2次世界大戦以前から歌われていた、パーリ語による讃歌。

## ■ 校訂報告

校訂譜：『聖歌・讃歌集』第1巻収録

底資料：—

校訂の詳細：特記事項なし

## ■ 解説

この讃歌は、ハワイでは第2次世界大戦以前から歌われており、仏教讃歌集にも掲載されていました。歌詞はパーリ語で、原語での題名は「Ti-sarana」といいます。

日本では1940年代の終わり頃から、京都女子学園の礼拝で《さんだんのうた》などとともに用いられるようになりました。その後、この形式での音楽礼拝が宗門関係学校や仏教婦人会などを中心に広まっていきました。

ご制定となった『音楽礼拝—正信念仏偈による』でも、《敬礼文》に続き歌われます。

## ◆ 意味

私は仏に帰依します

私は法に帰依します

私は僧（伽）に帰依します

※『音楽礼拝—正信念仏偈による』（本願寺出版社、2010年）より

## ◆歌い方

《敬礼文》と同様に、《三帰依》の楽譜には拍子記号や小節線が記されず、譜割り（音符と歌詞の対応）もされていません。それは、朗誦に近い唱え方することを示しています。

音楽礼拝では、《敬礼文》に続き調声人から歌いだし、各節を調声人と全員による追唱で歌います。

各節の「saranam（サラナム）」の部分は、朗誦を念頭におき、拍節感が強調されないようにしましょう。

## ◆参考動画

浄土真宗本願寺派公式YouTubeチャンネルでは、『音楽礼拝—正信念仏偈による』の動画（歌詞付音源）を配信しています。歌い方の参考になさってください。下記URL・QRコードからアクセスできます。

<https://youtu.be/QGj-kKcxfHY?si=sP62OaUBMCPg0xmH>

